

令和4年第1回定例会（令和4年3月8日）

厚生環境教育委員会委員長（荒金 卓雄 委員長）

去る3月2日の本会議において、厚生環境教育委員会に付託を受けました「議第3号 令和3年度別府市一般会計補正予算（第13号）」関係部分、ほか5件について、委員会を開会し、慎重に審査をいたしましたので、その経過と結果についてご報告いたします。

初めに、「議第3号 令和3年度別府市一般会計補正予算（第13号）」関係部分についてであります。

各課主なものとして、市民課関係部分においては、国の補正予算を受けて、マイナンバーカードを利用したオンライン手続きの推進を図るため1,098万9千円の追加額を計上し、また、システム改修費として国庫補助金の追加額693万円を計上し、繰越明許費補正しているとの説明がなされました。

委員から、マイナンバーカード取得率について質疑があり、当局から、別府市は37.3%である旨の答弁がなされました。

次に、生活環境課関係部分においては、小規模給水施設普及支援事業について、山間部の悪天候を考慮し、繰越明許費補正しているとの説明がなされました。

委員からの対象地区についての質疑に対し、当局から、平成29年度に意向調査を行い、要望のあった地区で実施しているとの答弁がなされた次第であります。

続いて、高齢者福祉課関係部分についてであります。

ひとまもり・おでかけ支援事業において、バス回数券購入費助成金の決算見込により、1,494万7千円、減額補正するとの説明がなされました。

委員から、コロナ禍で人の移動が減ったが、感染が落ち着けば人の移動が増えるため、相当の予算額を確保し、市役所以外でもバス回数券を購入できるようにしてほしいとの意見がなされた次第であります。

次に、ひと・くらし支援課関係部分では、生活保護扶助に要する経費の追加額として令和2年度精算分の国庫・県返納金を計上、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業の全額25億7,400万円を繰越明許費として計上しているとの説明がなされました。障害福祉課関係部分では、歳出では、障害児通所支援に要する経費において、発達相談会等の事業推進による早期療育訓練及び施設通所の開始による利用者増加に伴い、1,331万8千円の追加額を計上し、歳入では、特定財源である国庫・県負担金の追加額を計上しているとの説明がなされました。

続きまして、子育て支援課関係部分についてであります。

国の補正予算を財源として、放課後児童クラブに勤務する職員 205 人、私立の保育所・認定こども園・幼稚園に勤務する職員 823 人及び公立の会計年度任用職員の保育士の収入を 3 %程度引き上げるための措置を講じるために、補正を計上し、公立の会計年度任用職員を除き、令和 4 年 4 月分から 9 月分は令和 4 年度に繰り越すとの説明がなされました。

委員から職員個人の収入が引き上げられたことの確認方法等について質疑がなされ、当局から、保育園等から提出される賃金改善実績報告書及び賃金台帳をもとに確認するとの答弁がなされました。

次に、健康推進課関係部分についてであります。

新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費について、一般財源から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金へ財源の補正であること。また、新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費については、3 回目接種の前倒し実施を含めた体制確保に必要な費用について追加額を計上し、4 月以降も引き続き接種を実施するため、繰越明許費及び債務負担行為の補正をしているとの説明がなされました。

委員から、ワクチン未接種率についての質疑に対し、当局から、対象者のうちおよそ 2 割いるとの答弁がなされ、また、別の委員から、未接種者がわかりやすいよう接種方法についてホームページで案内してほしいとの意見がなされ、当局からホームページを活用した広報に努めるとの答弁がなされた次第であります。

続いて、保険年金課及び介護保険課関係部分について、各特別会計の決算見込みにより、歳入歳出予算の計数整理をしているとの説明がなされました。

次に、スポーツ推進課関係部分については、新型コロナウイルスの影響により、県民体育大会が中止となり、県民体育大会出場費補助金を減額補正するとの説明がなされました。

続きまして、教育政策課関係部分について、国の補正予算を受けて、小中学校のマスク等の保健衛生用品と大型掲示装置（プロジェクター）購入費用を追加計上し、翌年度に全額を繰り越し、令和 4 年度に事業実施する旨の説明がなされた次第であります。

次に、社会教育課関係部分について、別府市市民会館大ホール改修工事の入札残を反映させ、歳入の補助金と事業債を減額補正するとの説明がなされました。

委員から、大ホールの緞帳のデザインについて質疑がなされ、当局から、別府らしさを出すため竹をイメージしたデザインとなるとの答弁がなされました。

その他、関係各課から、入札結果等による歳出予算の執行額や国庫補助金な

どの歳入予算の確定に伴う計数整理等を計上している旨の説明がなされた次第であります。

次に、特別会計では、決算見込みによる歳入歳出予算の調整等として、「議第4号 令和3年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）」では、保険税軽減対象となる被保険者数の減少による保険基盤安定繰入金の減額補正のほか、新型コロナウイルス関連の減免による保険税の減額、それを補うための特別交付金及び災害等臨時特例補助金の増額、療養給付費及び高額療養費の増額補正等を計上しているとの説明がなされました。また、「議第5号 令和3年度別府市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）」では、要介護認定数や利用者の減少等に伴う予算の減額、給食サービス事業利用者増による増額補正を、「議第6号 令和3年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」では、額の確定により保険基盤安定繰入金を減額したことにより、広域連合に対する負担金も減額補正するとの説明がなされた次第であります。

以上4件の予算議案の採決におきましては、当局の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、1件の条例議案及び1件のその他議案についてであります。

初めに、「議第24号 別府市学校給食運営委員会条例の制定について」では、学校給食の運営に関する重要な事項について調査・審議する別府市学校給食運営委員会を設置することに伴い、条例を制定するものであるとの説明がなされました。

委員から運営委員会委員の任命についての質疑に対し、当局から、学校長、学校医、保護者等から教育委員会が委嘱し、任命するとの答弁がなされました。

最後に、「議第34号 別府市営ウエイトリフティング場の長期かつ独占的な利用について」では、別府市営ウエイトリフティング場を別府市ウエイトリフティング協会に令和4年4月1日から令和9年3月31日まで長期かつ独占的な利用をさせることに伴い、議会の議決を求めるものであるとの説明がなされました。

委員からウエイトリフティング場使用中の事故等の対応について質疑がなされ、当局から、管理するウエイトリフティング協会が保険に加入しているとの答弁がなされた次第であります。

以上2件の議案の採決におきましては、当局の説明を適切妥当と認め、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した次第であります。

以上で、当委員会に付託を受けました議案に対する審査の概要と結果の報告を終わります。

何とぞ、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。